

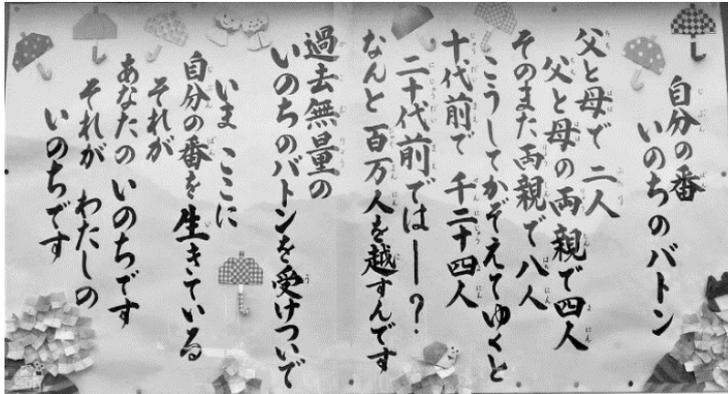
# くすの木

＜清水小学校めざす児童像＞

「しっかり考える子」「自らよく行う子」  
「すこやかな子」

令和4年6月号 - ② 校長 迎 和人

## 「自分の番を生きている」



「自分の番を生きている」 このフレーズは、玄関横の掲示板「自分の番 \_いのちのバトン」に書かれています。とっても深い言葉だと思います。私の年齢になると、ひしひしとこの言葉の重みを感じます。と、同時に命の不思議さも感じます。

一人の命の誕生には、過去無量の命がかかわっています。そのいのちのバトンを今自分

が受けついでいる。それが「わたしのいのち」です。

そう考えると、自分の命がとってもいとおしく思いませんか？

## □5年生平和学習



2日(木)、5年生は、佐世保空襲を語り継ぐ会の酒見莞爾さんに来校してもらい、平和学習を行いました。酒見さんは、終戦時3歳だったそうです。実物の焼夷弾を持参され、子どもたちに見せてくださいました。私も実物を見たのは初めてでした。あんな重いものがばらばらと空から落ちてきたらたまりません。そのうえ火を噴くとなると・・・。

5年生は、ここで学んだことをまとめ、29日の佐世保空襲の日の集会で発表します。



## ◇夏の準備～プール清掃～



朝、耳を澄ますとホトトギスの鳴き声「トッキョキョカキョク」が聞こえます。夏の渡り鳥です。3日(金)、6年生は「プールの清掃」を行いました。水を抜いたプールに入り、昨年夏からたまっているプールの汚れを掃除しました。大変きつい作業にもかかわらず、子どもたちの表情は明るく、そして楽しく行っていました。さすが6年生です。この掃除後プールに水を張り、10日(金)に「プール開き」を行う予定です。

## ＜お願いします、やめましょう！＞

前号の学校だよりで「一緒に考えてください」と題して、煙草のポイ捨てを例に、学校など公共のマナーについて考えていただきました。しかし、3日の朝も吸い殻(同じ銘柄)がありました。これが続くようであれば、体育館をはじめ、学校の施設を貸し出すことはできません。心当たりのある方は、情報をください。お願いします。これは、火事等につながることであり、子どもの安全を脅かす重大事案と考えています。返す返すも残念です。



※ 先の学校だよりで「6月、長崎県はいのちを見つめる強調月間です」と紹介しましたが、正確には佐世保市の取組です。訂正します。